

あんしん地域劇

～あなたなら最期をどう迎えたいですか～



～～～物語～～～

ここは、現世とあの世を結ぶ三途の川。たまたま出会った3人の男性は、いずれも肺がんを患い、一人は“施設”で一人は“病院”で、そしてもう一人は“自宅”で最期を迎えました。

『自分の最期はこれでよかったのか？』死んでみないとわからなかった話が三途の川を舞台に繰り広げられます。そして今日は閻魔大王様の誕生日。もし誕生日のくじにあたれば、なんと「もう一回人生をやり直せる！」との特典付き。

さあ、くじに当たって現世に戻れるのは誰でしょう？そして、自分らしい最期を迎えられるのでしょうか？

お一人でも、ご家族や大切な皆さんと、ぜひお越しください♪

日時：令和6年11月30日（土曜日）

受付12:30～ 開演13:00～15:00

会場：様似町中央公民館 文化ホール

定員：先着50名（定員に達したら締切）

申し込み期限 11月29日（金）まで

参加費
無料

連絡先：様似町保健福祉センターきらく 36-5511

主催：様似町

共催：十勝連携の会（てんむすの会）



－ 11月30日は「人生会議の日」－

劇をみたあとに
『人生会議』を始めてみませんか？

「人生会議」とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族や信頼する友人、医療・ケアの関係者等と繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があり、いつかは人生を締めくくる時期が訪れます。元気なうちから「人生会議」を重ねることで、あなたが自分の気持ちを話すことができなくなっても、あなたの気持ちに寄り添った医療やケアを受けることができます。また、あなたの大切な人の心の負担を軽くすることにも繋がります。



なにを話し合えばいいの？

一般に「どんな治療を、どこまで受けたいか」、「どこで、誰と最期を過ごしたいか」、「自分の思いや考えを誰に代弁して欲しいか」などを話し合います。「人生会議の日」をきっかけとして、普段あなたが考えていること、大切に思っていることなど、話しやすい内容からご家族や周囲の信頼できる人たち、かかりつけの医師に伝えてみてはいかがでしょうか。

豆知識（最期にみられる旅立ちのサイン）

- ①体が求めるままに眠る時間が増え、食べられる物や量が減ります。
- ②時間や場所、話している相手が誰かわからなくなります。また、夢と現実の区別が出来なくなる場合があります。
- ③尿や便の感覚がわからなくなったり、尿の量が減ります。
- ④手足が冷たくなり、肌色も悪くなってきます。
- ⑤喉元で淡がからんでいるようなゴロゴロとした音がします。
- ⑥呼吸が速くなったり、遅くなったり、無呼吸になったりと不規則になります。
- ⑦あごを上げて空気を欲しがするような呼吸になります。本人には意識がないため、この時苦痛は感じていません。

※最期まで周囲のかたの声が聞こえ、温かい雰囲気を感じることができます。

⇒返答や反応が無くても、手を握ったり安心できる言葉をかけ続けてあげてください。

※詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

【話し合いの進め方(例)】

あなたが大切にしていることは何ですか？

あなたは、どんな思いや希望を持っていますか？

信頼できる人や医療・介護スタッフと話し合いましたか？

話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましたか？

心身の状態に応じて意思は変化することがあるため、何度も繰り返し考え、話し合いたくしょう

【相談窓口】 様似町保健福祉センターきらく TEL 36-5511